

分野: 社会保健医学

主科目 副科目	公衆衛生医学 Public health medicine	DM_1301	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------------	---------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
板橋	◎大久保 孝義 菊谷 昌浩 石川ひろの(公衛院) 大脇 和浩(公衛院) 高橋 謙造(公衛院) 中田 善規(公衛院) 福田 吉治(公衛院) 松浦 正明(公衛院) 山岡 和枝(公衛院) 山本 秀樹(公衛院)	浅山 敬 井上 まり子(公衛院) 崎坂 香屋子(公衛院)	根本明日香(公衛院) 桑原 恵介(公衛院) 津田 洋子(公衛院) 渋谷 克彦(公衛院)	辰巳 友佳子 松田 彩子	野村 恭子 (客員教授)
-					
-					

	公衆衛生医学Ⅰ (1年次)				公衆衛生医学Ⅱ (2年次)				公衆衛生医学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概要	<p>公衆衛生学の基礎となる5つの分野(疫学、生物統計学、社会行動科学、保健行政・医療管理学、産業環境保健学)の中で、特に基礎となる学問である、疫学、生物統計学、について講義・演習を行う。</p> <p>また、代表的な疫学研究論文を読み、自ら批判的吟味を行う論文読解実習を行う。</p> <p>また、基本的な生物統計手法を取得するため、既存データを用いてデータ解析実習を行う。</p>				<p>公衆衛生学の基礎となる5つの分野の中で、前年度に学習した疫学、生物統計学については、より高度な内容・手法を身につけるための講義・演習・実習を行う。</p> <p>また、他の3分野(社会行動科学、保健行政・医療管理学、産業環境保健学)については、基礎的な内容に関する講義を行う。</p> <p>また、それぞれについて関連する代表的な論文を読み、批判的吟味を行う論文読解演習を行う。</p>				<p>1年次・2年次で学んだ5つの分野から、2-3の分野を選択し、より専門的な内容に関する講義・演習・実習を行う。</p> <p>例えば、疫学についてはメタアナリシス、生物統計学においては遺伝情報統計学、社会行動科学においてはソーシャルキャピタル分析、保健行政・医療管理学においてはステークホルダー分析、産業環境保健学においては環境マネジメントプラン策定、等についての講義・演習・実習を行う。</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 疫学研究の分類を挙げ、研究におけるエラーと対処法を説明できる。 図書館やインターネットを用い研究課題の医学情報の収集ができる。 医学論文の批判的な吟味ができ、それらの結果をまとめることができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 研究仮説をたて、それを解明する研究計画を立てることができる。 質問紙調査の調査票を作成することができる。 調査の計画が立てられる。 主要な健康関係データベースを挙げ、それらを用いた解析ができる。 				<ul style="list-style-type: none"> 統計解析パッケージを用いて多変量も含む基本的なデータ解析ができる。 日本の保健医療の現状を制度、法律、医療費、関係職種・組織などの点から説明しその問題の解決のため、仮説を持った研究計画を立てることができる。 			
事前事後学修	<p>次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておくこと。</p> <p>1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>				<p>受講態度 20% (発表、課題提出、リアクションペーパー) レポート 80%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	公衆衛生医学Ⅰ (1年次)	公衆衛生医学Ⅱ (2年次)	公衆衛生医学Ⅲ (3年次)
板橋	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	公衆衛生学Ⅰ	公衆衛生学Ⅱ	公衆衛生学Ⅲ
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	統計解析実習Ⅰ	統計解析実習Ⅱ	統計解析実習Ⅲ
	木 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00	木 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00	木 曜日 17 : 00 ~ 18 : 00
	論文批判的吟味演習Ⅰ	論文批判的吟味演習Ⅱ	論文批判的吟味演習Ⅲ
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
-	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :

教科書・参考書

参考図書:「疫学-医学的研究と実践のサイエンス」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)、「医学的研究のデザイン」第4版(メディカル・サイエンス・インターナショナル)、「国際誌にアクセプトされる医学論文」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)、「医学的介入の研究デザインと統計」(メディカル・サイエンス・インターナショナル)、「楽しい学会発表・論文執筆」(医学書院)、「リサーチ・クエスションの作り方(特定非営利活動法人 健康医療評価研究機構)」、「臨床のためのEBM入門-決定版JAMAユーザーズガイド」(医学書院)、「臨床研究の教科書: 研究デザインとデータ処理のポイント」(医学書院)、「臨床研究のABC」(メディカルサイエンス社)、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(文部科学省ホームページ)

その他履修上の注意事項

国内外の医療機関や研究機関で、一年間を上限に演習や研修を行い、研究課題に必要な指導を受けることができる。
派遣先は、学生の研究内容にあわせ適宜相談し決定する。
これまでの派遣先としては、海外ではハーバード大学(アメリカ)、モナッシュ大学(オーストラリア)など、国内では臨床疫学研究に実績のある病院などである。
講義・演習・実習の詳細については個別に案内する。
提出課題等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	臨床試験学など
	共通科目	研究課題に必要な調査・測定・検査に関する科目を1年以内

関連する専門医資格

社会医学系専門医、日本医師会認定産業医、労働衛生コンサルタント、日本産業衛生学会専門医、日本公衆衛生学会認定専門家

キャリアパス(モデルコース)

